
空を求めて

UNNATURAL

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空を求めて

【Nコード】

N7440K

【作者名】

UNNATURAL

【あらすじ】

ただの、飼い鳥の話。

(前書き)

空欄が多いのは文章表現だと思ってください。
短く簡単に、心に少しでも残ってくれたら幸いです。

生まれた時の事は覚えていないが、最初に見た物は覚えている。

ソレはとても深くて綺麗な青色だった。

私には翼が有る。

そしてその場所に行く事ができるはずだった…

しかしその手は私を乱暴につかみ小さなかごの中に入れた。

かごはとっても小さくて羽ばたく事ができなかった。

窮屈だった。餌をもらえた。

退屈だったが病気にかけると直してくれた。

生きていく上で何の問題も無かった。

私は生きている飾りだった。

外の景色には必ず少し太い縦線が入っていた。

空を見ると、あんなに青くて綺麗なのに初めて見たときより心が静かだった。

首輪は着いていないけど、体を何かに縛られているように感じた。

時より人がきて私の事を笑いながら見つめてる。

きっと翼を持つてるのに空にいない私の事が、

哀れで、滑稽で、面白くて仕方が無いのだろう。

私は何かをしたのだろうか。

私には分からないが、きっと計り知れない程悪い事をしたのだろう。
う。

おそらくこれはその罰なのだから。

ある日私は自分の翼を？ごとと必死に突いた。

翼が有ると空を見るときにつらいからだ。

しかしソレすらも許されなかった。

首におかしな物をつけられて突く事ができなくなった。

自分を傷つける事も許されず、与えられた物を食べて、

この狭い世界の中で、自由な外の世界を見せられながら朽ちてゆ

く自分。

悔しくて、

悔しくて、

悔しくて…

しかし何もする事を許されなくて、ただ時間だけが過ぎてゆく。

命の時間が消えていく…

大切に大切に飼いきれられる。

絶望の中でもお腹は空しく、眠くなる。

そんな自分が憎くて、哀れで、たまらない。

何一つできない。

何一つ…

おそらく私は今日、死ぬ。

やっと終わる。
やっと終わる…

かこの外では人が泣いてる。
死なないでと頼んでいる。

よほど私が苦しむ姿を見れなくなるのが悔しいのだろう。

その手は優しく私を包み最外に出してくれた。

長い間夢見て来た外なのに目もかすんで動く事もできない。

羽ばたいてみると言わんばかりに私を窓の開いた
場所におろした。

羽ばたく力なんて残っていないのを知っているくせに。

最後まで私を苦しめたらしい。

空を見上げるとぼやけてはいたが、綺麗な青が広がっていた。

届かなかった空にいま私は届く。

(後書き)

客観と主観の違いを表現しようと思いました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7440k/>

空を求めて

2011年1月27日04時32分発行